



早いもので、あっという間に3学期が終わります。2月には開校して初めて、大雪による休校がありました。久しぶりの大雪で、登下校が大変でしたね。それでもグラウンドの山盛りの積雪で、毎日楽しく遊ぶことができました。

1, 2年生のそり・スキー体験

休校になったため、当初の予定から延期しましたが、3～7年生のスキー教室に引き続き、そり・スキー体験も2年ぶりに行うことができました。ただ当日は気温がとても低く、体調を崩さないか心配していましたが、無事に楽しく体験して帰ってくることができました。講師として来て下さった保護者の皆様、寒い中ありがとうございました。



ようこそ先輩！小松市長来校 オープンダイアログ

2月10日(月)には宮橋市長が来校されました。市内10校ある中学校を順番に回られ、松東みどり学園への来校が最後とのことでした。2040年に市制100周年を迎えることから、その時小松市の土台を大きく担っているだろう7年生のみなさんに、未来の小松市創りに向けてのビジョンを熱く、そして魅力的にわかりやすく語られました。松岡町出身の宮橋市長は、もちろん本校の前身である松東中学校の卒業生でもあり、私たちにとっては身近な先輩です。授業の最後には宮橋先生から、困難を乗り越え、突き進んでいくエネルギーを持って欲しい、という熱いメッセージを頂き、素敵なキャリア教育となりました。

4限には4～6年生とのかかるた大会「市長杯」を開催しました。本校は小学部の頃から継続してかるた大会を行っています。市長ご自身もかるたの選手ということで、白熱した対戦が見られました。



9年生、ありがとう！

そして3月14日、お世話になった9年生が、この松東みどり学園を旅立ちました。今年も修学旅行の取組をしながら体育祭の準備をしてくれた9年生。少ない人数でどんなにか大変だったかと思いますが、見事に成功させてくれました。また、去年は勸進帳公演だったために、2年ぶりとなった文化祭の運営も、手探りをしながらも協力して、小さい子から大きなお兄さん、お姉さんまで、みんなが楽しめる文化祭を作ってくれましたね。苦しくても、いつも笑顔で乗り切ってきた9年生の姿は、まさによりよい松東みどり学園の歴史の1ページとなりました。最後の授業である卒業式での立派な姿に、誇らしい気持ちになりました。この9年間で、これからの予測困難な未来に立ち向かい、社会に飛び込んで生きていく力をしっかり身につけてくれたことと思います。本当にありがとう。

前日には同窓会会長様をお迎えして同窓会入会式を行いました。祝辞の中で座右の銘として話された「笑う門には福来る」9年生にぴったりの祝いの言葉でした。4年目を迎えた松東みどり学園の同窓会員は今年で94名となりました。来年はいよいよ100人目が誕生します。



前期課程、修了！6年生、おめでとう！

3月21日(金)には6年生の前期課程修了式を行いました。4月から後期課程の生徒になることには、ちょっぴり不安もあるかもしれないけれど、でも大丈夫。みんなにはほかの小学校の人にはない強みがある、とお話ししましたね。同じ校舎の中に中学生のお手本を示してくれる先輩たちがいるのだから、心配することはありません。3年後に自分の未来を自分で決められるよう、自己決定をする力を付けて欲しい。そして新しい自分になるこのチャンスを最大限生かしてほしい。先生たちもお家の方々も、これからもずっと応援していきます！



1年間、本校の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございました。
来年もどうぞよろしくお願いいたします。